

# 令和4年度（2022年度）第1回特別史跡熊本城跡保存活用委員会 主な意見

資料1

- 日 時 令和4年（2022年）8月3日（水）午後2時から午後4時15分
- 場 所 市民会館シアーズホーム夢ホール大会議室
- 出席者 伊東（龍）委員長、伊東（麗）委員、小畑委員、河島委員、小堀委員、坂本委員、西嶋委員（リモート出席）、廣瀬委員、毛利委員、森崎委員、山尾委員、山田委員 計12人（服部委員は欠席）

## 【前回委員会の主な意見】

No.	委員	委員意見	当日の回答	対応
1	毛利委員	資料1の2ページに藤崎台のクスノキのことは諮問項目の中で説明すると記載されているが、事前送付の資料を読んでも確認できなかった。	今回の素案は抜粋の形で資料を準備している。抜粋でない資料は後日郵送し、最終的な意見をいただきたい。	計画案に記載 (p22, p146-148, p197)

## 【議題】

### 諮問1 「熊本城みどり保存管理計画」（素案）について

No.	委員	委員意見	当日の回答	対応
2	森崎委員	桜の補植については、3月下旬から大型連休まで続く品種を選択し、観光客に長期間見せる検討を行っていただきたい。	品種調査を行った結果、どの時期にどの品種が咲くといったことが分かってきたので、それらも参考に品種を選んでいく。	計画案に記載 (第4章6. 桜の保護育成 p158)
3	山尾委員	熊本城にとって適切な緑の量は、危険木や遺構影響木を切った段階なのか、あるいはもう少し切ったほうが適切な緑の量なのか。基準についてはどう考えているのか。	景観審議の段階で緑の変化量を踏まえ、緑被率を判断材料の一つとして考えたい。	計画案に記載 (第4章3. 景観面 p120, p122)
4	山田委員	近世における城内の植栽などの歴史的変遷がわかるデータは珍しいので、情報発信等の機会を作っていただきたい。	今後、公表・周知を検討する。	計画案に記載 (第2章を中心に掲載) HPにも掲載予定
5	山田委員	「認定樹木」という言葉は、他の史跡・公園でもそういう制度のようなものがあるのか。熊本城オリジナルか。	他城郭でもあると思う。調査を行う。	次回委員会（11月） 当日説明

## 【議題】

## 諮問1 「熊本城みどり保存管理計画」(素案)について

資料1

No.	委員	委員意見	当日の回答	対応
6	山田委員	記念植樹は今後基本的には認められないということか。	なかなか認められないと思う。	-
7	河島委員	数年に一回剪定する費用がかかることを考えると、伐採してしまったほうが効率的ではないか。	剪定だけではすぐ元に戻ることにについては、今後の検討課題であると考えている。石垣や天守閣が見える樹木管理を意識したい。	計画案に記載 (第4章3. 景観面 p125コラムに掲載)
8	河島委員	新幹線車内からも城壁がはっきり認識できるよう、当該箇所の樹木も整備してはどうか。	新幹線側からは視点場が無いという状況もあるが、今後は観光客の目線も大事にしたい。	計画案に記載 (第4章3. 景観面p121)
9	西嶋委員	近代になっていろいろな形で、市民も含め、城内に相当数の木が植えられてきた。これを熊本城域内における民主化と呼びたい。 その前の時代は封建の時代で、権力者しか城内で様々な行為を行うことが出来なかった。 近代から現代にかけて、様々な思いの人たちが、お城に思いを寄せて植樹をしてきた。これは民主化が進んでいった行為ではないかと思う。	-	-
10	西嶋委員	これから熊本城を活用していくということは、市民との協働において、この民主化が一つのキーワードになってくるのではないかと、大きく捉えている。	-	-
11	西嶋委員	近代現代における熊本城を見たとき、市民や地域との関わりについて、どのようなことが行われてきたかをしっかり整理して捉えておくことが、これからの活用にとって重要である。	-	-
12	西嶋委員	緑被率の話が出たが、一般的に景観上は緑視率という指標も使われており、景観の話は、単に一つだけの数値で判断できる性格の分野ではない。	どのような指標でどう評価していくか検討を進める。	計画案に記載 (第4章3. 景観面p122)

【議題】

諮問1 「熊本城みどり保存管理計画」(素案)について

資料1

	委員	委員意見	当日の回答	対応
13	西嶋委員	今後、緑をどのように生かしていくかという観点から、専門家との協力と市民の協働は、第5章は非常に重要な項目、中身になってくると思われる。	市民協働に関してこれから大事な内容になってくる。熊本城の場合、史跡ということではいろいろなハードルがあるが、そういった中でも工夫しながら取り組んでいく。	計画案に記載 (第5章みどりの保存・管理の体制 p200-202)
14	西嶋委員	危険木・要注意木が多く、半分程度は伐採の対象になるのではないかと地元では心配している。なぜこういう状態になったかを省みて今後の管理にいかして欲しい。	点検の実施と点検の結果を受けた対策を行い、古樹・大樹、桜や梅など、大事にしたい樹木に対して、より手厚く対応していく。	-
15	西嶋委員	桜が多く伐採されるが、植樹を行ってきた地域から今後の補植計画を具体的に示して欲しいと要望している。文化庁との協議が必要であれば、その議論・協議結果を地域にフィードバックして欲しい。	文化庁・関係者との協議も控えており、検討を進めてく。	-
16	伊東(龍)委員長	専門家との協力体制・市民協働は、しっかり謳って欲しい。	史跡としての熊本城、都市公園としての熊本城、その中で緑はどうあるべきか、バランスを取りながら進める必要があり、体制については整理したい。	計画案に記載 (第5章みどりの保存・管理の体制 p200-202)
17	伊東(麗)委員	植栽の歴史、桜の品種、希少種など貴重なデータが集められており、今後これらに留意して管理することが重要。今後景観の論議をする際には緑視率といった指標は取扱いに注意が必要。	-	計画案に記載 (第4章3. 景観面p122) ※緑視率を使用する場合は取扱いに注意する
18	毛利委員	野鳥園の水飲み場について、熊本地震後に壊れたままとなっているので、復活していただきたい。	現場を確認する。	-
19	廣瀬委員	市民ボランティアの受入れについても推進するということが、植樹や補植にもボランティアを受け入れるのか。	植栽は史跡を扱うのでボランティアは難しい。	-

【議題】

諮問1 「熊本城みどり保存管理計画」(素案)について

資料1

No.	委員	委員意見	当日の回答	対応
20	廣瀬委員	剪定・伐採について、例えば寄附といったものを市政だより等で募ることは可能か。	寄附の内容として、桜の保護など多様に考えられるので、どのようなメニュー・内容で寄附を募るか検討する。	計画案に記載 (第5章みどりの保存・管理の体制 p201)

【議題】

報告1 長堀ライトアップ現場確認、「熊本城天守閣カラーライトアップ」及び「熊本城ライトアップ」について

No.	委員	委員意見	当日の回答	対応
21	山田委員	評判はどうか。	良好。	-

【議題】

報告2 NHK跡地発掘調査の状況報告について

No.	委員	委員意見	当日の回答	対応
22	小畑委員	真ん中を貫く12、13トレンチは、土手か土堀に積んでいる盛土が見えていると理解してよろしいか。	土手とは認識できていないが、造成に絡み低かった場所をかさ上げするために盛土しているのではないかと考えている。	-
23	小畑委員	その他の部分はほとんど削平(さくへい)を受けていたり、近代の建物である旧構造物がまだ残っていたりするという事か。	旧NHK熊本放送局の工事で掘削されていた部分は、その工事によって影響を受けていることを確認した。	-

【議題】

報告3 熊本城復旧基本計画検証委員会の開催について

資料1

No.	委員	委員意見	当日の回答	対応
24		発言なし	-	-

【その他】熊本城の魅力向上に向けた取組について

No.	委員	委員意見	当日の回答	対応
25		発言なし	-	-

【その他】熊本市民会館前の道路空間再配分について（市街地整備課）

No.	委員	委員意見	当日の回答	対応
26		発言なし	-	-